

当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この商品は、ドアを自動的に閉じる為の機械です。
安全に永くご使用頂く為に、以下の「注意事項」をよくご理解頂き、
正しくお取扱い下さい。

《注意事項》

1. 本機はドアが勢いよく速く閉まると、指をはさんだりドアとの接触転倒等による怪我をする危険を伴います。速度調整をしてもゆっくり閉まらなくなった場合は、速やかにをお取り替え下さい。
2. 標準速度で閉まっているドアを無理に速く閉めないで下さい。
3. ドアが脱輪し転倒する危険があるので、外れ止め金具は必ず設置して下さい。
4. 戸尻側及び中央に戸当り(引分けの場合)を必ず設置して下さい。
5. レール及び戸車溝部に粉塵等が付着していると、作動不良の原因となりますので、粉塵等の拭き取りを行い、付着のないようにして下さい。

引戸クローザBL5型 取付順序

(本図は全て右引き、左引きは逆になる。)

《施工時のお願い》

1. ドアを安全に開閉できるよう、枠及びドアの補強(裏板)は強固に設置して下さい。
2. 取付け、据付け時に叩き込まないで下さい。
3. 金物の取付けネジは緩まないように、しっかりと締め付けて下さい。

《安全管理の点検》《注意事項》に加えて、次に示す項目を点検して下さい。

1. 金物がスムーズに作動するか。
2. 変形、破損、音鳴り、ガタツキがないか。
3. 取付ネジの緩み、脱落がないか。

1 レールを取付ける。

- 水平に取付けて下さい。
- レールの表面に傷やペンキ等がつかないように養生して下さい。

2 枠側部品をレールに取付ける。

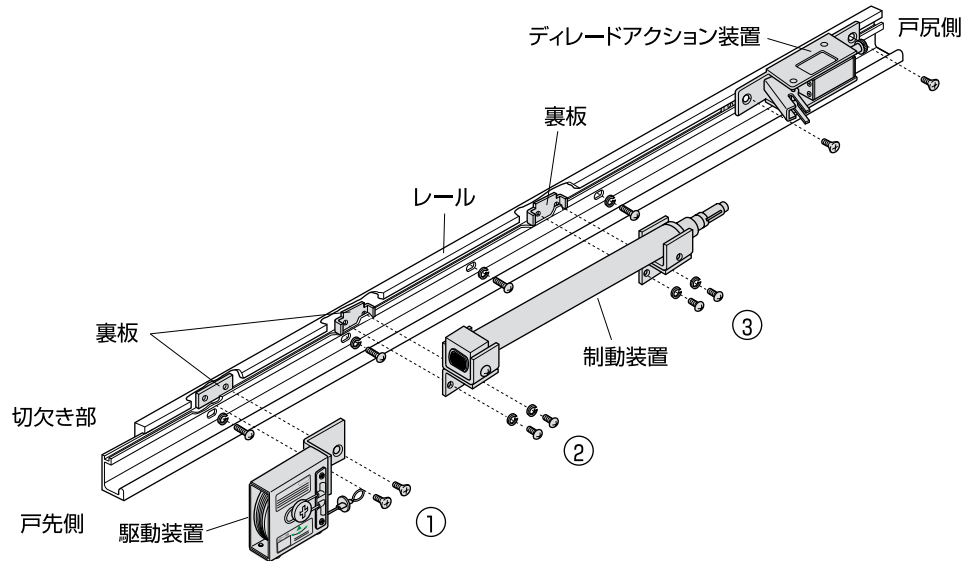
片引きの場合

駆動装置・制動装置及びディレードアクション装置を図の順に仮止めする。

- 裏板をレール切欠き部より差し込んで下さい。

取扱注意

駆動装置のパイプをたたいたり、ぶつかけたり、穴をあけたりしないで下さい。(パイプが変形すると動かなくなります。)



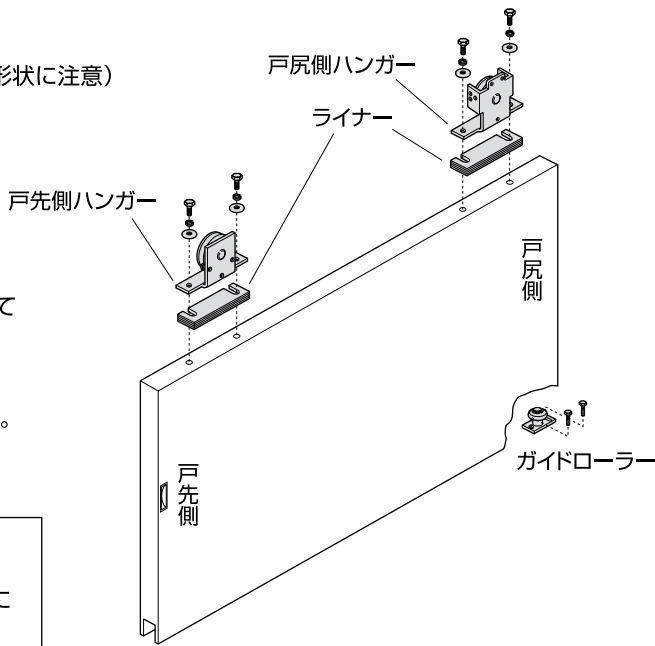
3 ハンガーをドアに取付ける。

- 戸先側と戸尻側のハンガーを間違わないようにして下さい。(形状に注意)
- ハンガーはドアの中心線上に取付けて下さい。

4 ガイドローラーを取付ける。

5 ドアを吊り込む。

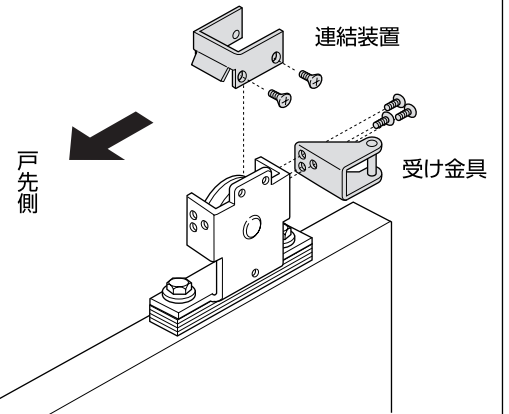
- 吊り込み時、ハンガーが制動装置に当たらないように注意して下さい。
- 吊り込み後、ドアがスムーズに開閉するか確認して下さい。
- 高さ調整ライナーを使用し、ドアと枠のチリ調整を行って下さい。



6 連結装置及び受け金具を取付ける。

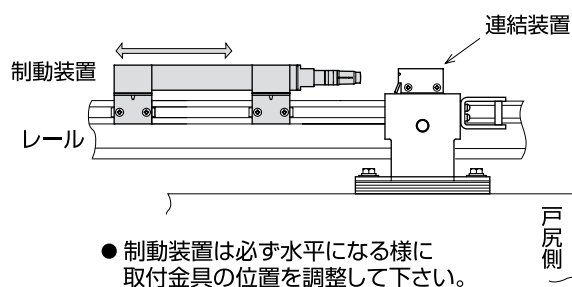
戸尻側ハンガーに下図のように連結装置及び受け金具を取付けて下さい。

- 連結装置は折り曲げがある方を戸先側に向けて下さい。

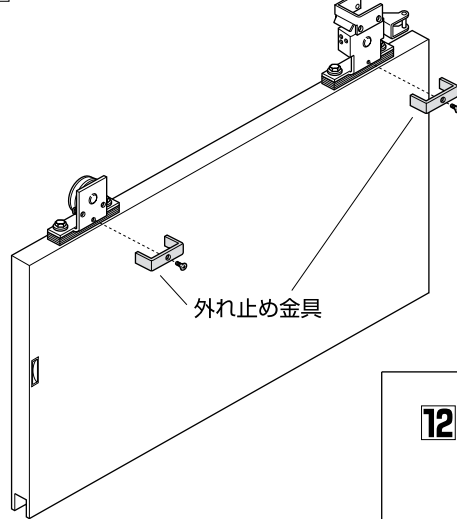


7 制動装置を取付ける。

- ドアを全閉させた時に、制動装置が連結装置と連結しない位置に仮止めして下さい。
- 制動装置先端の防塵用テープは、必ず最終調整時まで取外さないで下さい。(制動装置の位置決めは最終調整時に行なって下さい。)



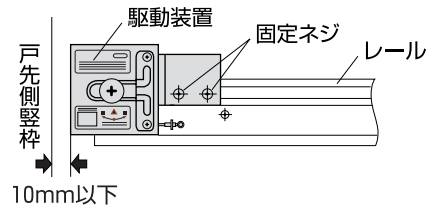
8 外れ止め金具を取付ける。



9 駆動装置の位置を決める。

片引きの場合

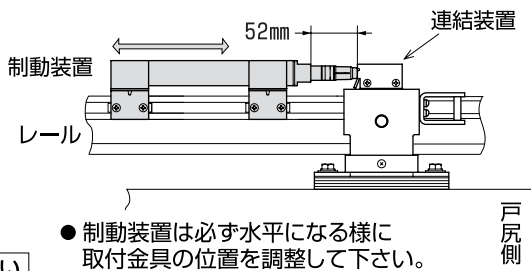
レール戸先側の駆動装置を竖枠から10mm以下の位置で固定する。



最終調整時

10 制動装置の位置を決める。

- (1) 制動装置先端引掛け蓋の防塵用テープを去除く。
- (2) 制動装置を連結装置の板に当たる位置まで移動させる。
- (3) レールに仮止めした制動装置を扉と共に、全閉した位置まで移動させる。
- (4) 制動装置と連結装置の間隔が下図の位置となるように固定する。



お願い

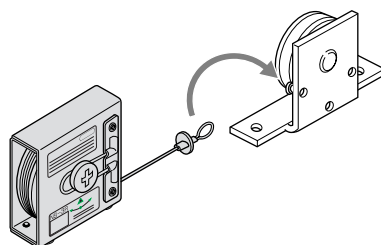
- 制動装置は必ず水平になる様に取付金具の位置を調整して下さい。

工事中の粉塵等が制動装置内に入ったり、鉄粉が制動装置先端引掛け蓋に付着すると作動不良の原因となります。

この作業は最終調整時(なるべく遅い時期)に行なって下さい。

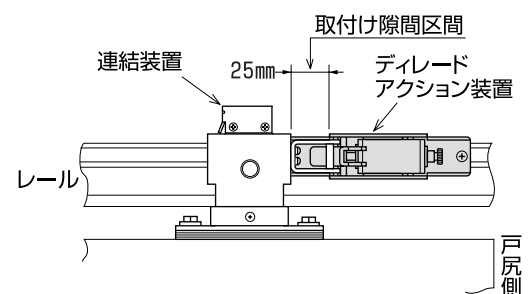
11 駆動装置をセットする。

駆動装置のワイヤーを引っ張り出して、戸先側ハンガーに引っかける。



12 ディレードアクション装置の位置を決めて固定する。

ドアを全開して、戸尻側ハンガー端面とディレードアクション装置のケース曲げ側面端との隙間が25mmになるように固定する。



お願い

本機は油が洩れると開放保持機能がなくなりドアがすぐ閉まるので、接触事故を起こす危険があります。

調整しても開放保持しない場合は、速やかにお取替え下さい。

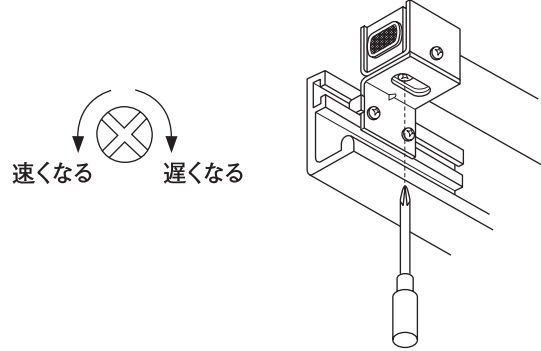
1～12で取付け完了です。調整方法は裏面をご覧ください。

本書は必ずお施主様にお渡し下さい。

調整方法

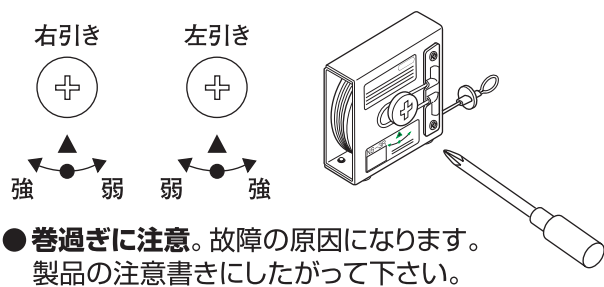
1 閉扉速度調整 (閉扉時間:5~8秒)

⊕⊖ドライバーにて制動装置(パイプ)の後端部にある調整バルブを回して下さい。



2 閉じ力調整

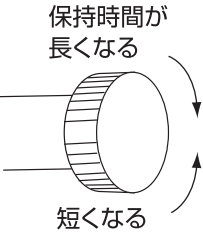
⊕ドライバーにて駆動装置(バネ)の中央軸を回して下さい。(本体表示シールの注意書きに従って下さい。)



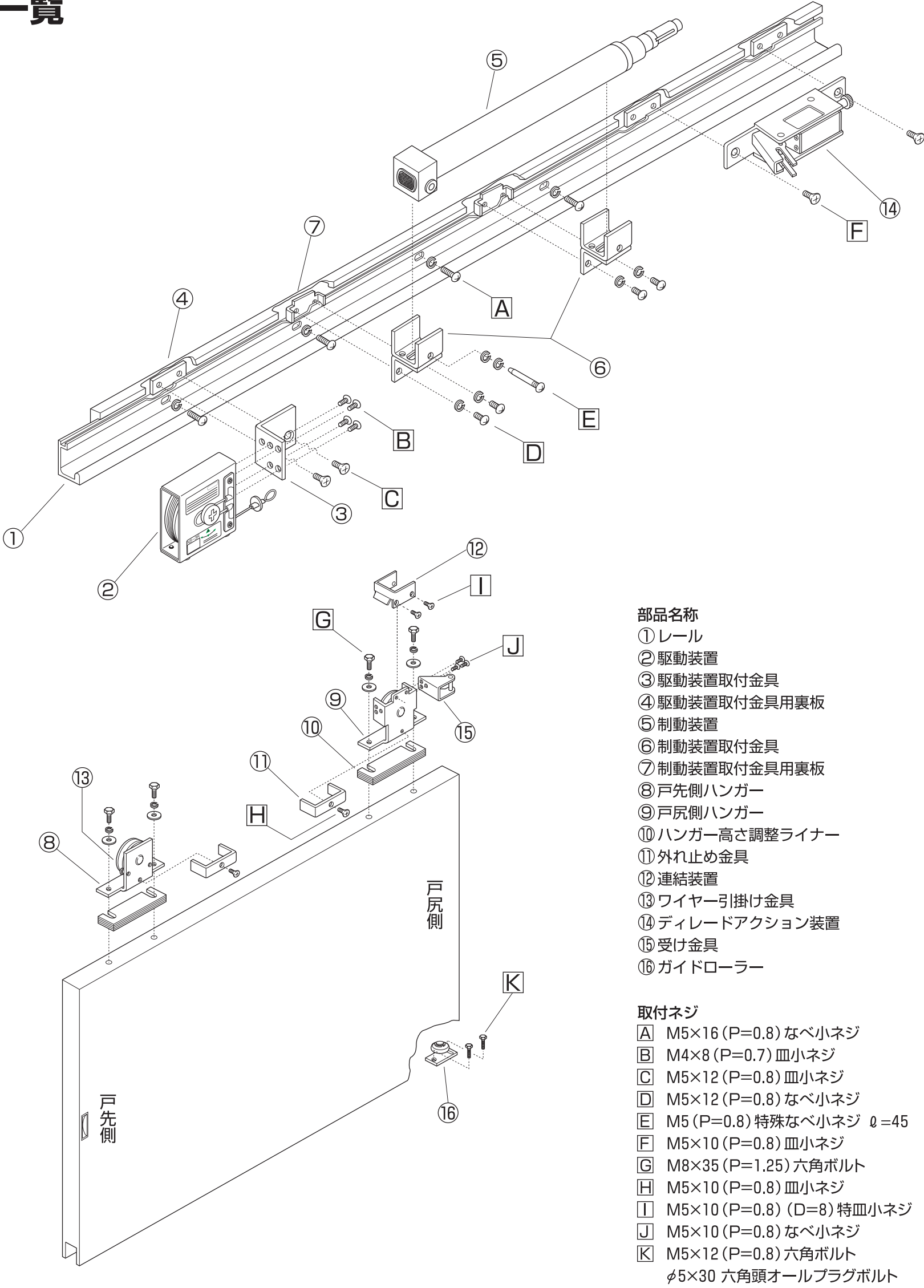
- お願い**
1. 閉じ力の調整は、必ず本体シールの表記範囲内で行って下さい。
 2. 故障の原因となりますので、本体シールに表記している限界巻数を超えない範囲でご使用下さい。

3 ディレードアクションの調整 (保持時間:5~10秒)

ディレードアクション装置のドア開放保持調整バルブを矢印方向に回して下さい。
5~10秒 間開いたままになるので、車椅子が安全に通行できます。



部品一覧



- 部品名称**
- ① レール
 - ② 駆動装置
 - ③ 駆動装置取付金具
 - ④ 駆動装置取付金具用裏板
 - ⑤ 制動装置
 - ⑥ 制動装置取付金具
 - ⑦ 制動装置取付金具用裏板
 - ⑧ 戸先側ハンガー
 - ⑨ 戸尻側ハンガー
 - ⑩ ハンガー高さ調整ライナー
 - ⑪ 外れ止め金具
 - ⑫ 連結装置
 - ⑬ ワイヤー引掛け金具
 - ⑭ ディレードアクション装置
 - ⑮ 受け金具
 - ⑯ ガイドローラー

取付ネジ		取付穴数
A	M5×16 (P=0.8) なべ小ネジ	
B	M4×8 (P=0.7) 皿小ネジ	4本
C	M5×12 (P=0.8) 皿小ネジ	2本
D	M5×12 (P=0.8) なべ小ネジ	4本
E	M5 (P=0.8) 特殊なべ小ネジ $\phi=45$	1本
F	M5×10 (P=0.8) 皿小ネジ	2本
G	M8×35 (P=1.25) 六角ボルト	4本
H	M5×10 (P=0.8) 皿小ネジ	2本
I	M5×10 (P=0.8) (D=8) 特皿小ネジ	2本
J	M5×10 (P=0.8) なべ小ネジ	3本
K	M5×12 (P=0.8) 六角ボルト	2本
	$\phi 5 \times 30$ 六角頭オールプラグボルト	2本